

会議録

令和3年4月28日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和2年度第9回定例会
開催日時	令和3年2月17日(水) 18時30分～19時45分
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小野修平(会長)、西原みどり(副会長)、伊藤正明、大友禾弘子、小林道子、遠藤修、大内俊、伊藤邦子、伊尻由起、渡部國夫、小沼純子、高井正、倉持伸江 職員：高田館長、國府方館長補佐(田無)、山本事業係長(柳沢)、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	
議題	1 議題 (1) 主催事業について ア 令和2年度公民館主催事業報告 (資料1) (2) 報告事項 ア 令和2年度第7回定例会会議録(案)について(資料2) イ 令和2年度第8回定例会会議録(案)について(資料3) ウ 行政報告 エ 公民館だより編集室報告 オ 都公連委員会報告 (3) 意見交換 ア 西東京市公民館事業計画(令和3～5年度中期計画)素案について(資料4) イ 令和3年度西東京市公民館事業計画(案)について 2 事務連絡及び情報交換 (1) 令和3年度学校出前講座について (2) 西東京市公民館運営審議会委員研修について (3) その他 3 その他 (1) 3月定例会開催について 3月17日(水) 午後6時30分から 柳沢公民館視聴覚室
会議資料の名称	【資料】 資料1 令和2年度公民館主催事業報告書 資料2 令和2年度第7回定例会会議録(案) 資料3 令和2年度第8回定例会会議録(案) 資料4 西東京市公民館事業計画検討懇談会第4回会議録
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 5名
1 議題 (1) 主催事業について ア 令和2年度公民館主催事業報告 (資料1) ○A委員 親子講座「～ ^{ちちこ} 父子でドッキリわくわく、科学でマジック～」(保谷駅前)について、「その他」に「定員に余裕のある回に限り母でもよいことにした」とあるが、「父子」とあるためあきらめた人もいたと思う。父子以外でもよいというただし書きがほしかった。	

○分館長（保谷駅前）

あくまで児童の父対象であり、申し込みも多数あった。最初から母も可ということであると、かなりの応募者が見込まれるため記載しなかった。今後については検討する。

○B委員

防災講座「我が家の行動計画（風水害編）を作ろう！」（田無）について、「備考」に「オンライン実証実験を行った」とある。Webexの使用は12月に終了したと聞く。公運審からオンライン事業を進めてほしいという意見が出されていたがその後西東京市のオンラインの活用や公民館での進捗状況はどのようになっているのか。

○公民館長

Web会議ツールについて市として推奨するものについては結論が出ていない。公民館としては対応人数、対象講座、実施手段等方向性を検討中である。

○B委員

事業報告に公民館事業に初めて参加した方の人数が記載されるようになった。多くの方が新たに参加してくださって素晴らしい。

○C委員

子ども体験講座「アルキメデスへのとびら～算数と友だち～」（芝久保）について、参加者は中学生か。

○分館長（芝久保）

小、中学生対象だったが中学生の参加はなかった。小学3年生20人、4年生13人、5年生16人、6年生2人、計51人（3日間の総計）。

○C委員

小学校低学年には難しかったのではないかと。対象学年の設定は難しいが5、6年生から中学生に絞ってもよかったかもしれない。

○D委員

親子講座「～父子でドッキリわくわく、科学でマジック～」（保谷駅前）について、「今後の方向性」に「学校で理科の実験が減る傾向にある」とあるので良い取り組みだと思う。学校との連携は事業計画にもあり、積極的に取り組んでほしい。

○E委員

親子講座「～父子でドッキリわくわく、科学でマジック～」（保谷駅前）について、理科の実験は過去より減っている。科学に興味のある子ども、実験から興味がわく子どももいるので良い取り組みであると思う。

(2) 報告事項

ア 令和2年度第7回定例会会議録（案）について（資料2）

意見なく承認。

イ 令和2年度第8回定例会会議録（案）について（資料3）

各自持ち帰り内容の確認をし、修正等があれば一週間以内に公民館に連絡する。

ウ 行政報告

なし

エ 公民館だより編集室報告

なし

○C委員

公民館だより令和3年2月1日号1面記事「コロナ禍の団体活動1」について。団体の状況がわかってよい。2ページの時も少しでも良いから活動状況を掲載すると団体活動が活性化すると思う。

○B委員

公民館だより令和3年2月1日号「ちょこっと彫刻さんぽ」について。第1回とあるが4ページ版の時の連載か。

○事業係主査

2月1日号、3月1日号、4月1日号の3号にわたって連載する予定。

オ 都公連委員会報告

○F委員

「第57回東京都公民館研究大会」はホームページに掲載されているのでぜひご覧いただきたい。

(3) 意見交換

ア 西東京市公民館事業計画(令和3～5年度中期計画)素案について (資料4)

イ 令和3年度西東京市公民館事業計画(案)について

○会長

2月3日に最後の検討懇談会(第5回)が行われた。1月の定例会の中でいろいろご意見があったが、何が大事か細かい整理が必要ではないかという話が出た。今後のスケジュールとして3月定例会で素案を確定する。令和3年度の計画も3月までに詳細を詰めて確定する。

「西東京市公民館事業計画(令和3～5年度中期計画)素案(以下「中期計画」)の修正のポイント、分館長協議内容中間報告も事務局で説明を。

○事業係主査

1月定例会でいただいたご意見をふまえ、構成を見直し、「基本方針」の下に「取組事業」を掲載した。検討の際の参考資料として、各館が、地域連携という視点から今後3年間取り組んでいくことが考えられる事業について書いたものと、上位計画・関連計画との関係と個々の事業のめざすことがわかる「事業計画概要案」を提出した。

○会長

基本目標では、今までどおり公民館に来た人を大事にするが、今後3年間の目標として、「共生社会の実現」という目標に向かって、公民館の建物の中だけでなく地域の中に踏み出していくという公民館の姿勢を述べている。基本方針としては、「開かれた公民館」「地域と共に」「問いかける公民館」「地域の中につながりを」の4つが示されている。前回の定例会で出された意見をふまえて検討懇談会で協議した結果、基本方針の下に取組事業を記載した。

○G委員

すごくわかりやすくなっている。パーセンテージで公民館を利用しない理由として「特に理由はない」というところが面白い。一回足を運んだがつまらないから来ないということではないということがわかったので伸びしろがある気がした。次に取組事業があってわかりやすくなっている。

○H委員

事業計画自体が「公民館は何をやるどころ」ということを明確にしようというものなのでそのことがはっきりした。基本目標をみると公民館は二つのことをやるのだということがはっきり書いてある。「主催事業を展開する」「人と人、団体・機関相互がつながり、協力して課題を解決していく営みを支援する」と、公民館の役割は主催事業の実施と市民主体の活動を支援する二つのことだとわかる。支援の部分がないと、いつまでたっても事業を実施するだけの組織となってしまう。「お客さんたちに来てもらう取り組みをやる」ということで終わってしまう。公民館の主催事業から、市民の主体的活動が地域の中でどんどん展開し、さらに生まれてきたその活動を公民館が支援していくという大事なことがここに書かれている。「事業計画概要案」で事業ごとに3年後、どういう状態を目指すかは書いてあるが、トータルな3年後のイメージが書いてあるとよいのではないか。市民の発想を支援して、公民館がやらなくても、市民の活動が展開していくような状態を作っていく。その状態を作るために公民館は何をやるのか。トータルな3年後の姿が書いてあるとよい。どういう西東京市を作っていくのか、学びを通して民主主義社会の基盤をつくっていくなど書かれてあると、事業計画としてわかりやすくなる。

2ページ記載の基本方針「開かれた公民館」の中で書かれている「今期の教育計画」は、何年から何年までの計画かを書いてほしい。計画同士の整合性が出てくると思うので。

「障害」「障がい」と表記の仕方が2つあるが、統一した方がよい。

○会長

主催事業の展開だけではなく、市民が課題解決していく営みを支援するという公民館の2つの役割を述べているという高井委員の指摘が伝わるようにした方がよい。この考え方に基づいて中期計画を作り、それを基に単年度計画を作って事業が実施される。

○D委員

支援、取り組み、その先のゴールがどのような形になるか難しいところ。3年後の絵姿をコミットできるものではない。そういう難しさを感じているが、3年後の、ある程度具体性を持たせた絵姿をゴールとして描きたい。1年目、2年目、3年目のロードマップ的なものも加えられれば、素晴らしい。

○会長

トータルがわかる方がよいという意見をお二人からいただいた。3年後のイメージがないと「中期計画」に対してどうだったかという評価が難しくなるので、その点、検討していただきたい。

この表現で伝わるのかという視点で今一度読み込んでいただき、意見があれば一週間以内にメールなどで公民館へ。

令和3年度事業計画について事務局から説明を。

○事業係主査

令和3年度主催事業計画については作成途中のため、詳細を示すことができない。「中期計画」に基づいて、地域団体等との連携に留意しながら、様々な対象に向けて、多様な課題を取り上げ、全館でバランスよく取り組んでいく予定であることを示したのが参考資料として配布した一覧。

○H委員

「中期計画」の基本方針の「問いかける」「開かれた」というキーワードは、すべての事業にかかってくる。全ての事業を検討する上で、その視点をもっていただきたい。

○会長

検討のために出された参考資料は「中期計画」に添付するのか、どの程度の扱いになるのか検討が必要だと思う。

○G委員

職員の忙しさを見ていると、単年度事業を充実させつつ「中期計画」もプラスアルファでやっていく余裕はあるのかと思う。予算は、今までどおり単年度なのか。

○公民館長

予算は毎年度、市議会での議決を経て確定する。単年度であることに変わりはない。

限られた中でどのような形で重点的に事業を展開していくのかということを経営的に考えながらやっていく必要があると思う。専門員、職員ができる規模や目標設定を考えて事業設定する必要がある。そこを踏まえて単年度事業を考えたい。

○事業係主査

単年度事業計画については、メール等で素案を示して委員のみなさんから意見をいただき、それを踏まえて作成したものを3月定例会に提出したい。

○会長

令和3年度事業計画については、次回定例会で審議する。

2 事務連絡及び情報交換

(1) 令和3年度学校出前講座について

○公民館長

公民館、社会教育課、図書館が連携して学校出前講座を実施する予定。昨年11月学校に対して予備調査をしたところ、多数の要望があり、非常に必要性があると実感した。実施するにあたり、公民館の職員体制や公民館としてどのような事業を行うべきかを考慮し、対象事業として5事業を選んだ。社会教育課からは6事業、図書館からは3事業出されている。小・中学校には、計14事業の中から選んで、2月25日までに申し込んでもらう予定。

○C委員

いいことだと思うが、公民館と学校の連携するには、共通理解が必要。すぐにできるわけではない。公民館や学校は忙しくなると思う。

○E委員

碧山小は西東京市カルタに申し込んだ。西東京市カルタは昨年度各学校に1セット配られた。旧田無時代、「田無市カルタ」があって、3年生が市について学ぶとき、カルタで学んでいて、子ども時

代の思い出として、共通の話題となっていた。今回は、作ってくれた人が来てくれるので、思いや話を聞いてカルタをする楽しみがある。実施にあたっては、打ち合わせは必要。

○会長

来年度初めての取り組み。公運審でも見守っていただけるとよい。

(2) 西東京市公民館運営審議会委員研修について

出欠の回答を公民館へ

(3) その他

○公民館長

緊急事態宣言が3月7日までになった。引き続き午後8時閉館となる。

3 その他

(1) 3月定例会開催について

3月17日(水)午後6時30分から 柳沢公民館 視聴覚室